



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月21日

上場会社名 ジーエフシー株式会社
 コード番号 7559 URL <http://www.gfc-c.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村公一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部部长 (氏名) 岩永雅由
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日

TEL 058-387-8181
 2020年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,253	3.6	367	43.5	423	39.7	254	63.7
2019年3月期	25,337	0.5	651	21.3	703	19.5	702	14.6

(注) 包括利益 2020年3月期 238百万円 (66.9%) 2019年3月期 720百万円 (23.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	45.35		1.4	2.1	1.4
2019年3月期	122.55		4.1	3.5	2.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	18,981	16,911	89.0	3,058.82
2019年3月期	20,444	17,120	83.7	2,988.45

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,911百万円 2019年3月期 17,120百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	865	459	594	7,570
2019年3月期	559	331	143	6,843

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		25.00	25.00	143	20.3	0.8
2020年3月期		0.00		25.00	25.00	138	55.1	0.8
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期配当予想につきましては未定としております。今後、業績予想が算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点で合理的に算定をすることが困難であることから未定といたします。今後、業績予想が算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	5,769,040 株	2019年3月期	5,769,040 株
期末自己株式数	2020年3月期	240,234 株	2019年3月期	40,234 株
期中平均株式数	2020年3月期	5,606,948 株	2019年3月期	5,728,813 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	23,391	7.4	243	58.9	312	52.8	181	56.0
2019年3月期	25,287	0.5	592	20.7	662	18.7	414	28.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	32.43	
2019年3月期	72.26	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	17,861		16,145		90.3		2,920.26	
2019年3月期	19,151		16,425		85.7		2,867.18	

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,145百万円 2019年3月期 16,425百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 役員の変動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、設備投資の緩やかな増加、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦や金融資本市場の変動の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

外食産業におきましては、食の安全・安心に関する意識が高まる中、個人消費の持ち直しが見られるものの、人手不足による人件費の上昇、原材料の高騰や物流コストの上昇に加えて、直近では新型コロナウイルスによる人の移動制限が国内外を問わずかかっており、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、優秀な人材の獲得と育成、市場競争力の高い商品の企画開発に注力すると同時に、仕入先との協働による品質管理の更なる強化並びに海外への販売事業の拡大と一般消費者への販売事業の実現に向けて注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は262億53百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益3億67百万円（前年同期比43.5%減）、経常利益4億23百万円（前年同期比39.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億54百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、次の取扱区分により記載し、セグメントによる記載を省略しております。

① 水産加工品

主に魚介類を中心として、野菜等を組み合わせた加工商品で、売上高は116億50百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

② 農産加工品

農産物の素材を活かした加工商品で、売上高は112億12百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

③ 畜肉加工品

生肉の冷凍加工品及び燻製加工品で、売上高は15億29百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

④ その他

料理の下味、かくし味等に使用する特殊調味料及び料理の演出効果を高める器・道具類で、売上高は18億61百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計期間末における資産の残高は、189億81百万円（前連結会計年度末は204億44百万円）となり、14億62百万円減少いたしました。現金及び預金の増加（68億93百万円から76億20百万円、7億26百万円増）並びに商品及び製品の増加（11億65百万円から14億30百万円、2億65百万円増）があったものの、受取手形及び売掛金の減少（39億30百万円から21億10百万円、18億20百万円減）並びに投資有価証券の減少（22億93百万円から16億77百万円、6億15百万円減）が主な要因であります。

(負債)

当連結会計期間末における負債の残高は、20億69百万円（前連結会計年度末は33億24百万円）となり、12億54百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金の減少（19億38百万円から10億99百万円、8億39百万円減）、未払法人税等の減少（3億3百万円から1億51百万円、1億52百万円減）並びに短期借入金の減少（1億49百万円から32百万円、1億17百万円減）が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計期間末における純資産の残高は、169億11百万円（前連結会計年度末は171億20百万円）となり、2億8百万円減少いたしました。利益剰余金の増加（125億22百万円から126億33百万円、1億11百万円増）があったものの、自己株式の取得3億3百万円が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動で得られた資金が8億65百万円、投資有価証券の償還による収入等による投資活動で得られた資金が4億59百万円、自己株式の取得による支出等の財務活動で使用した資金が5億94百万円でありました。その結果、前連結会計年度末に比べて7億26百万円増加し、75億70百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、8億65百万円（前連結会計年度は5億59百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少額8億42百万円、法人税等の支払額2億89百万円並びにたな卸資産の増加額2億67百万円があったものの、売上債権の減少額18億21百万円並びに税金等調整前当期純利益4億円により、資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果得られた資金は、4億59百万円（前連結会計年度は3億31百万円の収入）となりました。これは主に有価証券の取得による支出36億円、投資有価証券の取得による支出6億円並びに有形固定資産の取得による支出1億16百万円があったものの、有価証券の償還による収入39億円並びに投資有価証券の償還による収入9億円により、資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、5億94百万円（前連結会計年度は1億43百万円の支出）となりました。これは主に自己株式の取得による支出3億3百万円並びに配当金の支払額1億43百万円により、資金が減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	84.9	83.7	89.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	44.0	40.2	36.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	49.6	13.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	803.4	—	164.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（4）今後の見通し

当社グループでは、企業ビジョンである「『おいしい出会い』を創りたい、おいしい笑顔の世界に広げたい」に則り、社会への貢献を果たしてまいりたいと思います。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による、各産業とりわけ当社グループの主要な販売先である外食産業、観光産業での消費減退の影響は多大であることが懸念され、より一層の厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは危機感を共有し既存のビジネスモデルを見直し、コロナ禍が収束したのちの活性化した市場を想定した商品開発や、新たな販路の開拓を継続するとともに、事業を支える優秀な人材の獲得・育成に注力してまいります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点で合理的に算定をすることが困難であることから未定といたします。今後、業績予想が算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,893,491	7,620,149
受取手形及び売掛金	3,930,929	2,110,288
有価証券	900,000	900,000
商品及び製品	1,165,054	1,430,164
原材料及び貯蔵品	74,625	76,778
その他	95,654	110,071
貸倒引当金	△7,540	△4,740
流動資産合計	13,052,215	12,242,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,529,723	4,476,242
減価償却累計額	△3,858,607	△3,823,948
建物及び構築物（純額）	671,116	652,293
機械装置及び運搬具	1,538,555	1,516,185
減価償却累計額	△1,465,586	△1,435,525
機械装置及び運搬具（純額）	72,968	80,660
土地	3,800,175	3,778,055
建設仮勘定	1,029	—
その他	388,208	342,866
減価償却累計額	△314,971	△251,945
その他（純額）	73,237	90,920
有形固定資産合計	4,618,526	4,601,929
無形固定資産		
ソフトウェア	8,432	43,116
その他	49,726	29,326
無形固定資産合計	58,158	72,442
投資その他の資産		
投資有価証券	2,293,285	1,677,742
繰延税金資産	98,132	90,232
退職給付に係る資産	161,969	149,391
その他	172,923	171,337
貸倒引当金	△10,776	△24,243
投資その他の資産合計	2,715,535	2,064,460
固定資産合計	7,392,221	6,738,832
資産合計	20,444,436	18,981,543

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,938,444	1,099,389
短期借入金	149,364	32,000
1年内返済予定の長期借入金	42,480	42,480
未払法人税等	303,189	151,133
賞与引当金	127,476	137,807
役員賞与引当金	5,498	5,423
その他	354,820	233,680
流動負債合計	2,921,273	1,701,914
固定負債		
長期借入金	86,080	43,600
役員退職慰労引当金	74,267	81,964
退職給付に係る負債	171,052	171,892
その他	71,506	70,506
固定負債合計	402,905	367,962
負債合計	3,324,178	2,069,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,344,021	2,344,021
資本剰余金	2,295,156	2,295,156
利益剰余金	12,522,509	12,633,580
自己株式	△47,667	△351,467
株主資本合計	17,114,020	16,921,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,608	△6,218
為替換算調整勘定	△2,370	△3,405
その他の包括利益累計額合計	6,238	△9,623
純資産合計	17,120,258	16,911,666
負債純資産合計	20,444,436	18,981,543

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	25,337,317	26,253,855
売上原価	20,834,877	21,648,037
売上総利益	4,502,439	4,605,818
販売費及び一般管理費		
販売費	1,147,362	1,264,094
一般管理費	2,703,891	2,974,124
販売費及び一般管理費合計	3,851,254	4,238,218
営業利益	651,185	367,600
営業外収益		
受取利息	25,009	26,863
受取配当金	3,888	3,970
受取賃貸料	4,840	6,389
受取手数料	6,984	6,859
貸倒引当金戻入額	1,740	—
為替差益	—	11,310
その他	9,905	6,484
営業外収益合計	52,368	61,877
営業外費用		
支払利息	49	5,255
自己株式取得費用	—	480
為替差損	105	—
営業外費用合計	155	5,736
経常利益	703,397	423,740
特別利益		
固定資産売却益	—	494
投資有価証券売却益	—	3
負ののれん発生益	273,931	—
特別利益合計	273,931	498
特別損失		
固定資産売却損	—	75
固定資産除却損	530	1,627
投資有価証券評価損	61,381	—
減損損失	—	22,120
特別損失合計	61,911	23,822
税金等調整前当期純利益	915,417	400,416
法人税、住民税及び事業税	195,296	137,511
法人税等調整額	18,011	8,614
法人税等合計	213,307	146,126
当期純利益	702,110	254,290
親会社株主に帰属する当期純利益	702,110	254,290

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益	702,110	254,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,599	△14,827
為替換算調整勘定	152	△1,034
その他の包括利益合計	18,751	△15,862
包括利益	720,861	238,428
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	720,861	238,428
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,344,021	2,295,156	11,963,620	△47,606	16,555,192
当期変動額					
剰余金の配当			△143,221		△143,221
親会社株主に帰属する当期純利益			702,110		702,110
自己株式の取得				△61	△61
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	558,889	△61	558,827
当期末残高	2,344,021	2,295,156	12,522,509	△47,667	17,114,020

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△9,990	△2,522	△12,513	16,542,678
当期変動額				
剰余金の配当				△143,221
親会社株主に帰属する当期純利益				702,110
自己株式の取得				△61
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	18,599	152	18,751	18,751
当期変動額合計	18,599	152	18,751	577,579
当期末残高	8,608	△2,370	6,238	17,120,258

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,344,021	2,295,156	12,522,509	△47,667	17,114,020
当期変動額					
剰余金の配当			△143,220		△143,220
親会社株主に帰属する当期純利益			254,290		254,290
自己株式の取得				△303,800	△303,800
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	111,070	△303,800	△192,729
当期末残高	2,344,021	2,295,156	12,633,580	△351,467	16,921,290

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	8,608	△2,370	6,238	17,120,258
当期変動額				
剰余金の配当				△143,220
親会社株主に帰属する当期純利益				254,290
自己株式の取得				△303,800
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△14,827	△1,034	△15,862	△15,862
当期変動額合計	△14,827	△1,034	△15,862	△208,591
当期末残高	△6,218	△3,405	△9,623	16,911,666

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	915,417	400,416
減価償却費	125,294	141,045
為替差損益(△は益)	—	△10,781
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,473	10,331
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	150	△75
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,002	7,697
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,023	10,667
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,130	840
受取利息及び受取配当金	△28,898	△30,834
支払利息	49	5,255
負ののれん発生益	△273,931	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3
固定資産売却損益(△は益)	—	△419
固定資産除却損	530	1,627
投資有価証券評価損益(△は益)	61,381	—
減損損失	—	22,120
売上債権の増減額(△は増加)	140,747	1,821,080
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,400	△267,262
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,335	△842,093
その他の資産の増減額(△は増加)	△99,730	△14,116
その他の負債の増減額(△は減少)	4,412	△127,072
小計	768,861	1,128,422
利息及び配当金の受取額	28,069	31,485
利息の支払額	△49	△5,255
法人税等の支払額	△237,061	△289,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	559,820	865,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有価証券の取得による支出	△3,600,000	△3,600,000
有価証券の償還による収入	5,100,000	3,900,000
有形固定資産の取得による支出	△79,189	△116,733
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△16,251	△39,166
投資有価証券の取得による支出	△900,000	△600,000
投資有価証券の売却による収入	—	5
投資有価証券の償還による収入	—	900,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△159,439	—
その他	△13,943	15,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	331,176	459,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	1,709,078
短期借入金の返済による支出	△500,000	△1,813,071
長期借入金の返済による支出	—	△42,480
自己株式の取得による支出	△61	△303,800
配当金の支払額	△143,407	△143,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,468	△594,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	162	△3,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	747,690	726,658
現金及び現金同等物の期首残高	6,095,800	6,843,491
現金及び現金同等物の期末残高	6,843,491	7,570,149

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、当社グループは業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	農産加工品	水産加工品	畜肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	11,986,258	9,897,333	1,594,659	1,859,066	25,337,317

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	農産加工品	水産加工品	畜肉加工品	その他	合計
外部顧客への売上高	11,212,415	11,650,641	1,529,327	1,861,470	26,253,855

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度

当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	2,988.45円	3,058.82円
1株当たり当期純利益	122.55円	45.35円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	702,110	254,290
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	702,110	254,290
期中平均株式数（株）	5,728,813	5,606,948

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

区分	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比 (%)
農産加工品 (千円)	325,352	104.8
水産加工品 (千円)	17,428	83.0
畜肉加工品 (千円)	2,492	258.5
その他 (千円)	313,779	107.3
合計 (千円)	659,052	105.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

区分	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比 (%)
水産加工品 (千円)	10,266,897	121.9
農産加工品 (千円)	8,863,980	92.9
畜肉加工品 (千円)	1,266,832	95.4
その他 (千円)	1,208,506	97.4
合計 (千円)	21,606,216	105.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

④ 販売実績

区分	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比 (%)
水産加工品 (千円)	11,650,641	117.7
農産加工品 (千円)	11,212,415	93.5
畜肉加工品 (千円)	1,529,327	95.9
その他 (千円)	1,861,470	100.1
合計 (千円)	26,253,855	103.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

新任取締役候補 取締役 苗村 彰仁

③ 就任予定日

2020年6月23日